

目 次

1. 広島大学マスタース総会・懇親会のご案内	2
2. 「令和5年度事業」の報告	
(1) 令和5年度の全ての事業・行事が終了しました（一覧表）	3
(2) 広大マスタース主催市民フォーラム（第6回）	
シンポジウム「子どもを健やかに育むことのできる東広島市に」	4
(3) ちゅーピーカルチャーセンターに2講師を派遣	6
(4) 令和5年度冬期日本語・日本文化特別研修に2講師を派遣	6
3. 「令和6年度事業」のご案内	
(1) 令和6年度も広島大学の「平和教育」に参加します	7
(2) 令和6年度も東広島市民講座が始まります	8
4. 会員情報	9
5. 追悼文	
広大マスタース広島代表幹事植木研介先生の急逝を悼む	10



広大マスターズ総会・懇親会のご案内

下記のように、定例総会および懇親会を開催します。

ご参集いただきますようお願い致します。（谷本 能文）

~~~~~  
2024年度（第19回） 定例総会および懇親会

2024年6月1日（土）

泉ホール（西条駅前 賀茂泉館4階）

東広島市西条本町12-5（TEL:082-424-2088）  
~~~~~

第1部 総会 16:00～17:00（開場 15:30）

次第

代表幹事挨拶／顧問挨拶

2023年度事業活動報告

2023年度会計報告・会計監査報告

役員改選

2024年度事業計画

2024年度予算

新入会員の紹介 など

第2部 懇親会（新入会員歓迎会を兼ねる） 17:30～20:00

会費 5,000円（アルコール代込み、前半90分のみ飲み放題）

【追記】総会・懇親会会場開催方式について、2023年5月の新型コロナウイルス感染症分類の季節性インフルエンザ同様5類への引き下げ以降約1年が経過することを踏まえ、泉ホールにおいてパーティション設置やその他の特別なコロナ飛沫感染対策は行わない方針であることが確認できましたので、コロナ禍前の会場開催方式に戻し、コロナ感染対策無しの総会・懇親会会場開催方式といたします。来賓の方にもご参加いただきます。4月中旬頃参加申込みの案内をメール送信しますので、多くの会員がご参加いただきますようお願いいたします。

「令和5年度事業」の報告

(1) 令和5年度(2023年度)の全ての事業・行事が終了しました

各行事・事業の詳細、議事録、報告レポートなどは、
 広大マスターズHP「会員版」に記録してあります。ご参照ください。(相田 美砂子)

	時期	事業・行事	開催場所
HM 行事 (総会)	6月	第18回総会 6月2日(金)	西条 HAKUWA ホテル
HM 行事 (講演会)	7月	第18回マスターズ講演会「ChatGPT など生成人工知能との付き合い方」(講師:相原 玲二) 7月23日(日)	くらら 研修室
HM 行事 (講演会)	2024/ 1月	第19回マスターズ講演会 マスターズ主催市民フォーラム:学園都市・東広島の近未来を語ろう (第6回)シンポジウム「子どもを健やかに育むことのできる東広島市に」2024年1月28日(日)	東広島市市民 文化センター
HM 行事 (例会)	11月	第28回例会「マイクロンメモリジャパン広島工場見学会」2023年11月20日(月)	マイクロン 広島工場
HM 行事 (例会)	2024/ 3月	第29回例会 第12回マスターズ・ウォーキング大会 「新春お花見(梅花の薫)・健康ウォーク」2024年3月3日(日)	憩いの森公園 (龍王山)
広島大学 (教養教育)	第2 ターム	平和と人間A-環境と生物の未来へ (講義担当)山尾正博, 加藤範久, 松田正典, 安藤忠男, 安藤忠男, 青木孝夫, 岩田賢司, 岡本祐 子, 平田敏文, 相田美砂子, 鈴木寛一, 山尾正博, 上 真一, 松田治男, 池田秀雄	広島大学
		平和と人間B-人間と文化の未来へ (講義担当)池田秀雄, 青木孝夫, 山尾正博, 相田美砂子, 平田敏文, 松田正典, 難波平人, 岩田 賢司, 松田治男, 原野 昇, 上 真一, 渡部和彦, 川崎信文, 加藤範久, 池田秀雄	
広島大学 (留学生教育)	夏期・ 冬期	広島大学「令和5年度日本語・日本文化特別研修」 夏期:「日本の絵画-鳥獣戯画の世界」(講師:金田 晋), 「日本の伝統スポーツと礼-武術 から武道へ- (日本のスポーツ科学紹介)」(講師:渡部和彦) 冬期:「日本の絵画-鳥獣戯画の世界」(講師:金田 晋), 「日本の伝統スポーツと礼-武術 から武道へ- (剣道の演技あり)」(講師:渡部和彦)	広島大学
東広島市 (市民講座)	通年	「東広島を楽しくスケッチしよう(豊栄町編)」(難波平人)5月2日(火), 9日(火), 16日 (火), 23日(火);作品展:東広島市立美術館 2F アートギャラリー(6月20日~25日)	東広島市乃美 地域センター
		「自然環境中で分解可能なバイオプラスチックの開発」(講師:白浜博幸) 6月17日(土), 24日(土), 7月1日(土), 8日(土)	
		「小学生のための実践的な将棋講座」(講師:早瀬光司) 8月3日(木), 4日(金), 10日(木), 11日(金)	
		「生体内医用材料(バイオマテリアル)開発における界面化学の利活用」(講師:白浜博幸) 11月11日(土), 18日(土), 25日(土), 12月2日(土)	
東広島市 (出前講座) (通年)	通年	「新型コロナウイルスと食生活」(加藤 範久)4月17日(月), 5月17日(金), 7月18日(木)	くらら, 八本松 飯田上組, 福富 町下竹仁
		「食べ物と健康:健康寿命を延ばす食べ物」(室岡 義勝)2024年2月28日(水)	八本松町 原
広島リカレン ト学院講座	通年	専門講座:英会話(三浦省五), 健康ウォーク(渡部和彦)	広島市内
		教養講座:室岡 義勝(科学を信じない人々~ワクチンは効かない・地球温暖化はまやかし・組換 え食品は危ない・神の手~), 安藤忠男(SDGs 各論貧 困・飢餓・病気からの解放~SDGs 貧困 飢餓 病気~), 金田 晋(絵を読む ~ピカソ「アヴィニヨンの娘たち」をめぐって~キュビズム 20世紀 の夜明け)難波 平人(世界の集落を追って), 青木 孝夫(日本の美意識の表裏~裏面の美意識を 焦点として~), 保坂 幸男(穀物の話~収穫前・収穫後~), 谷本 能文(わたしの国際交流体験 ~異文化とのふれあい~), 沖村 雄二(西条の銘酒用地下水~県央の特異な地形・幻の湖~), 鳥谷部 茂(悪質不動産取引等と意思形成過程への法的支援~原野商法・地面師詐欺~), 山尾政 博(私たちの, 食料の安全保障~市民が考える安全保障, 海外依存~), 白浜 博幸(自分史で綴 る広島大学の変遷と展望~新制広島大学の設立, 将来の在り方~), 早瀬 光司(哲学するつ て, どういうこと(3)~茶席の掛け軸を読み解く~), 菅川健二(広島県の将来ビジョン~ひろし ま未来チャレンジ, 産業・観光~), 池田秀雄(国際協力と最近の世界情勢~国際協力 経済開発 国際競争~), 加藤 範久(日本の発酵食品と健康), 川崎 信文(政治主導とは何か?~「政治と 行政」関係の歴史・現状・課題~), 相田 美砂子(男女共同参画に関する日本の諸法律), 原野 昇(本と紙の歴史~羊皮紙と写本~), 牟田 泰三(心とはなんだろう)	
ちゅーピーカ ルチャーセン ター	通年	「水彩・油絵」(難波 平人), 「世界の近代美術を楽しく学ぶ」(金田 晋)	東広島市内

(2) 広大マスターズ主催市民フォーラム：「子どもを健やかに育むことのできる東広島市に」

(2-1) 開催案内

広島大学マスターズ主催市民フォーラム：学園都市・東広島の近未来を語ろう（第6回）
シンポジウム 「子どもを健やかに育むことのできる東広島市に」

- ・日 時：2024年1月28日（日）午後1時30分～3時30分（開場：午後1時）（参加無料）
- ・会 場：東広島市市民文化センター アザレアホール（サンスクエア・3階 西条西本町）
- ・託児所：市民文化センター2階の日本間を無料臨時託児所として開設。
（託児をご希望の方には、当日受付にお申込みいただいた。）

・プログラム

第1部 シンポジウム（午後1時35分～2時40分）

「少子化と子育て問題の現状と背景」山崎博敏（広島大学名誉教授）

「東広島市の子育て政策：主として乳幼児を対象として」川口一成（東広島市副市長）

「放課後児童クラブ運営者として」奥先楓（社会福祉法人紅楓福祉会理事長）

「市民の声、要望など」東間真緒（2児の母）

第2部 総合討論（午後2時45分～3時25分）

ファシリテーター 鈴木直美（中国新聞記者）

総合司会 上 真一（広島大学マスターズ幹事）

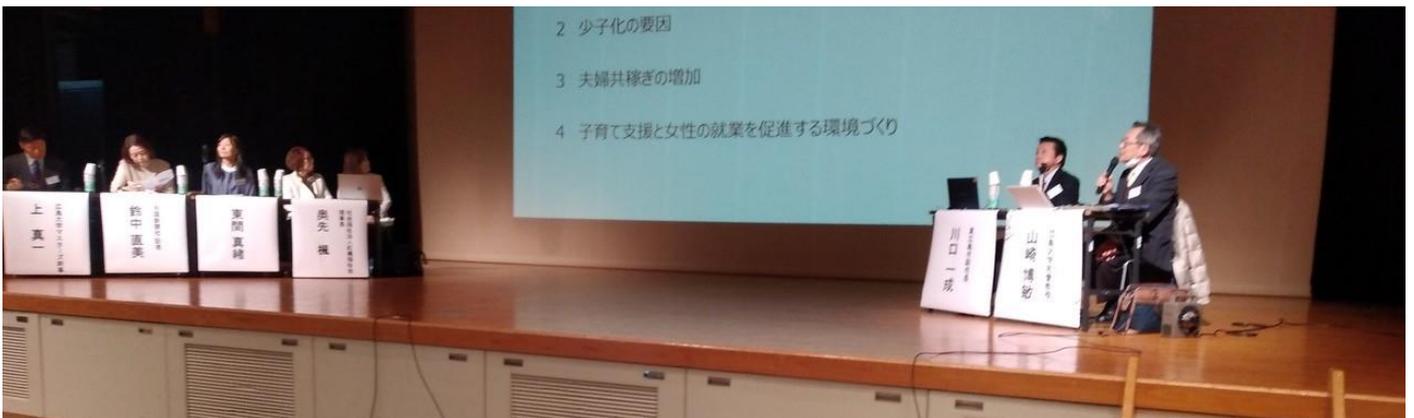


(2-2) 開催報告

広大マスターズ幹事 上 真一

2024年1月28日(日)、東広島市市民文化センターアザレアホールにおいて標記フォーラムが開催された。今回は「学園都市・東広島の近未来を語ろう」の第6回目となり、「子供を健やかに育むことのできる東広島市に」のテーマを掲げてシンポジウム形式で行われた。当日の参加者数は約50名、その約8割が女性であった。また臨時託児所を開設して子どもの受け入れ体制も整えた。

現在の急激な少子高齢化は日本の将来に暗い影を落とす一因となっていると言われている。それに対応するために、子育て支援を中心とする様々な少子化対策が講じられているが、出生率の回復につながる効果には結びついていない。そこで、本シンポジウムでは、東広島市における子育て問題について話し合い、この地で子どもを健やかに育むための方策などについて議論した。



まず、山崎博敏 広島大学名誉教授が「少子化と子育て問題の現状と背景」に関して概説した。日本の人口動態、出生率、その他の統計データに基づき、少子化の要因として、1) 結婚年齢・出産年齢の上昇、2) 夫婦当たりの出産数の減少、3) 未婚者の増加、4) 保護者の経済状況の悪化、5) 新型コロナウイルスによる出産数の激減などを指摘した。

次に、川口一成 東広島市副市長により「東広島市の子育て政策、主として乳幼児を対象として」と題する発表があった。地理的条件や人口動態が類似している国内15地方自治体の中では、東広島市の子育て関連予算は総額でも市民一人当たりの額でもトップで、子育ては市の重要政策の一つとして充実に努めている現状が説明された。

続いて、奥先楓 社会法人紅楓福社会理事長により「放課後児童クラブ運営者として」の立場から話題提供があり、当該法人施設が建設されるに至った経緯や、施設内で嬉々として活動する子どもたちの日常が紹介された。またこのような施設の運営を通して地元社会に貢献できる喜びを語られた。

最後に、2児の母である東間真緒さんは、「子育てするなら東広島」の謳い文句を掲げていた東広島市に移住し、実際の子育てを通して当市の施策が充実していることを知り、高く評価しているとのことであった。ただ、現在、長女が通う放課後児童クラブにはスペースや活動の制約などの問題点があり、市は学校側とも協議しながら改善を図ってほしい旨の要望が表明された。

総合討論において、東広島市民として子育て中の鈴木直美 中国新聞記者がファシリテーターを務め、4人の講演者間の論点のすり合わせや、会場参加者からの意見も促しながら活発に議論をリードした。他の地方自治体(例えば明石市など)で行われている先進的な子育て政策を列挙し、東広島市での実施の可能性などについて問うと、副市長から可能な政策から実施して行きたいとの発言があった。東広島市が名実ともに子育て政策の充実した学園都市になることを期待するものである。

(3) ちゅーピーカルチャーセンター講座に2講師派遣

広大マスターズ幹事 金田 晋

表記センターは2011年4月西条中央通りにオープン、一帯の文化ゾーンの形成に貢献しましたが、その創設以来の教室です。因みに現在の寺家に移ってからも5年半(2018年10月)。2020年から世界的なコロナ・パンデミックの災禍に巻き込まれ、教室を開けない時期もありました。そこをも耐え抜いた歴史をもっています。2023年度後期も2講師派遣。

難波平人会員「水彩・油絵」(毎月第1金曜日)

金田晋会員「世界の近代美術をたのしく学ぶ」(毎月第2・第4金曜日)

難波教室は受講者10名(2月末現在)。受講生は実技を学び、作品制作に励んでいます。今期は4月20日から約1週間、難波会員の別の教室の受講生と一緒に芸術文化ホール・くららで作品展示会を開きます。

金田教室は、「近代美術」の枠をこえて、芸術諸ジャンルの世界を広く学んでいます。受講者は20代から80代まで、広島、廿日市、三原からも通ってきます。13名(2月末現在)、3カ月1クールで、美術館での鑑賞会が組み込まれています。今期10月は東広島市立美術館の「古代エジプト美術展」を、3月は同館の「民藝」展の団体鑑賞をしました。当美術館の担当学芸員から詳しい解説を受けました。

(4) 令和5年度冬期日本語・日本文化特別研修に2講師を派遣

広大マスターズ幹事 金田 晋

コロナ感染者はなお絶えませんが、順次オンラインから対面へと旧に復しつつあります。昨年度冬期から台湾、非漢字圏両クラスが対面方式に戻り、中国クラスも今年度冬期から対面+オンラインのハイブリッド方式で開きました。台湾34名(夏期9名)、非漢字圏16名(同4名)、中国76名(対面)+67名(オンライン)(同79名)でした。マスターズからは2名講師を派遣、3クラスすべてで下記の講義を行いました。

金田晋会員「日本の絵画―鳥獣戯画の世界」。世界的に親しまれている日本の漫画、アニメを糸口にし、その源流として知られる12世紀の国宝「四大絵巻」、特に「鳥獣戯画」甲巻をとりあげ、約10メートルの画卷を鑑賞し、あわせて日本美術の特質を学びました。

渡部和彦会員「日本の伝統スポーツと礼―武術から武道へ(剣道の演技あり)」。柔道、剣道、空手道を通じる「道」は、また和の文化である華道、書道にも通じる日本文化の精神性の特質であります。スポーツと礼の視点から日本人の行動様式を説きました。広大剣道部の学生の実演があり、全受講生の「メン」打ち動作と「メイン」発声で締めくくりました。

「令和6年度事業」のご案内

(1) 令和6年度も広島大学の「平和教育」に参加します

広大マスターズ幹事 池田 秀雄

広島大学では、2011年度から平和科目（選択必修、2単位）を開設しており、広大マスターズはこの平和科目群に、2024年度も「平和と人間 A」、「平和と人間 B」の2科目を提供します。

これらの2科目は昨年と同様いずれも第2ターム（6月10日～7月29日）の月曜日に開講されます。「平和と人間 A」が1・2および3・4時限、「平和と人間 B」が5・6および7・8時限の開講となります。

平和と人間 A—環境と生物の未来へ（主担当：加藤範久）

- 第1回 ガイダンス 授業の狙いと講師の紹介（加藤範久・元生物圏科学研究科）
- 第2回 特殊詐欺の誘惑と恐怖（鳥谷部茂・元社会科学研究所）
- 第3回 広島投下の原子爆弾の構造・威力・被害と放射線障害（松田正典・元総合科学部）
- 第4回 人類が直面している諸課題（安藤忠男・元生物圏科学研究科）
- 第5回 未来社会の作り方（安藤忠男・元生物圏科学研究科）
- 第6回 資本主義経済の安定性と不安定性（松田正彦・元社会科学研究所）
- 第7回 平和と国際政治（岩田賢司・元国際協力研究科）
- 第8回 心理学から見た平和（岡本祐子・元教育学研究科）
- 第9回 バイオテクノロジーとAIが地球を救う（室岡義勝・元工学研究科）
- 第10回 男女共同参画社会への道（相田美砂子・元理学研究科）
- 第11回 貧困と栄養（加藤範久・元生物圏科学研究科）
- 第12回 哲学や美学の観点から見た典型的な平和について（青木孝夫・元総合科学研究科）
- 第13回 絶海の孤島で起こった環境破壊と社会崩壊：モアイ像は何を見たか？
（上 真一・元生物圏科学研究科）
- 第14回 貧困と感染症（古澤修一・元統合生命科学研究科）
- 第15回 国際協力の過去と未来（池田秀雄・元国際協力研究科）

平和と人間 B—人間と文化の未来へ（主担当：池田秀雄）

- 第1回 ガイダンス 授業の狙いと講師の紹介（池田秀雄・元国際協力研究科）
- 第2回 芸術を通して見る「平和／戦争と人間」について（青木孝夫・元総合科学研究科）
- 第3回 特殊詐欺の誘惑と恐怖（鳥谷部茂・元社会学研究科）
- 第4回 男女共同参画社会への道（相田美砂子・元理学研究科）
- 第5回 バイオテクノロジーとAIが地球を救う（室岡義勝・元工学研究科）
- 第6回 広島投下の原子爆弾の構造・威力・被害と放射線障害（松田正典・元生物圏科学研究科）
- 第7回 資本主義経済の安定性と不安定性（松田正彦・元社会科学研究所）
- 第8回 平和と国際政治（岩田賢司・元国際協力研究科）
- 第9回 貧困と感染症（古澤修一・元統合生命科学研究科）
- 第10回 戦争と記憶—比治山に眠るフランス兵士（原野 昇・元文学研究科）
- 第11回 絶海の孤島で起こった環境破壊と社会崩壊：モアイ像は何を見たか？
（上 真一・元生物圏科学研究科）
- 第12回 平和とスポーツの祭典とオリンピック（渡部和彦・元教育学研究科）
- 第13回 国民国家とその争点：フランスを事例として（川崎信文・元社会科学研究所（法学部））
- 第14回 貧困と栄養（加藤範久・元生物圏科学研究科）
- 第15回 国際協力の過去と未来（池田秀雄・元国際協力研究科）

(2) 令和6年度も東広島市民講座が始まります

広大マスターズ幹事 三浦 省五

主催：東広島市教育委員会

共催：広島大学マスターズ

会場、申込締切日などの詳細は、東広島市教育文化振興事業団との会議で決定し、時に変更することがあります。その際は決定次第、広大マスターズ HP (会員版) <https://masters.hiroshima-u.ac.jp/> に掲載します。市民講座に関する問合せ・申込み先は、東広島市教育文化振興事業団 (電話 082-424-3811) となっております。

(1) 「東広島を楽しくスケッチしよう (河内町編)」 (講師：難波平人)

概要：スケッチの際の構図の決め方、着彩の要領、空間や明暗表現などを研究しながら、風情のある河内町の二ヶ所を楽しくスケッチします。雨天の時は地域センターの大ホールで、各自の持参した写真を参考にして描きます。各自が道具を持参のこと。

開講時期：5月7日 (火)・14日 (火)・21日 (火)・28日 (火) (全4回)

いずれも 13:30～15:00

スケッチ場所：東広島市河内地域センター周辺

集合場所：東広島市河内地域センター (河内町中河内 1166 電話 082-437-1122)

募集人数：30名 (抽選)

画材：スケッチブック6号以上、鉛筆4B程度、水彩道具一式 (アクリル、油絵の具も可) 等を持参して下さい。

(2) 「小学生のための実践的な将棋講座」 (講師：早瀬光司 (日本将棋連盟：五段))

概要：下記の①～⑥を夏休みの4回の講座で学びながら、将棋を指します。本講座の「目的・目標」は、将棋を指すことを通じて、「自分で考える」、「深く考える」習慣を身につけることです。

- ① まず、将棋を対局するときの「礼」について、詳しく説明します。
- ② そして、初心者 (将棋を初めて指す子) には、駒の動かし方から説明をします。
- ③ 次に、大盤を用いて、相手の王将の捕え方を説明します。
- ④ さらには、相手陣への「攻め方」、自陣の「守り方」を説明します。
- ⑤ また、各受講生の棋力に応じた「駒落ち」を設定して、講師と将棋を指して学びます。
- ⑥ 希望があれば、各受講生同士で将棋を指すこともできます。

対象者：申込みは、下記のどの級位の子でも可能 (OK) です。

- <1> 将棋の初心者 (将棋を全く初めて指す子)
- <2> 将棋の初級者 (将棋を1～10回くらい指している子)
- <3> 将棋の中級者 (将棋がいくらか強い子)
- <4> 将棋の上級者 (将棋が強い子)

定員：10名以内 (抽選)

開講時期：8月1日 (木)・2日 (金)・8日 (木)・9日 (金)

いずれも 13:30～15:00

会場：市民文化センター・研修室2

(3) 「国際語としての英語 ～ 異文化コミュニケーションの落とし穴 ～ 」

(講師：谷本秀康)

概要：英語が国際語として最も広く使われている事は自明の理です。しかし文化を異にする人々が英語を共通語として話す場合には誤解という落とし穴が常に存在します。この講座ではコミュニケーションギャップが生じる原因について考察します。

定員：40名（抽選）

開講時期：8月10日（土）・17日（土）・24日（土）・31日（土）

いずれも13：30～15：00

会場：市民文化センター・研修室2

(4) 「自分史を中心とした広島大学の変遷と展望」 (講師：白浜 博幸)

概要：新制広島大学の変遷と展望を、激しい学生運動、学生時代、西条キャンパスへの統合移転、将来の大学の在り方など自分史を通して説明したい。予定している目次としては、新制広島大学の設立、自分史で綴る広島大学の変遷と発展（学生時代・企業時代、統合移転を経た変遷と発展、研究室時代、共同研究センター時代）、将来の大学の在り方、など。

定員：40名（抽選）

開講時期：10月5日（土）・19日（土）・26日（土）・11月9日（土）

いずれも10：30～12：00

会場：市民文化センター・研修室2

(5) 「英語通訳・翻訳の視点から ～ 異文化コミュニケーションの落とし穴 ～ 」

(講師：谷本秀康)

概要：長年、同時通訳者として通訳の現場で異文化コミュニケーションの橋渡しをしてきた経験に基づいて、英語と日本語を比較しながら言葉の意味の曖昧さや多義性について考察します。

定員：40名（抽選）

後期開講時期：12月14日（土）・21日（土）・2025年1月11日（土）・18日（土）

いずれも13：30～15：00

会場：市民文化センター・研修室2

会員情報

訃報

広大マスターズ幹事 岩田 賢司

下記の訃報が寄せられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

黒川 正流 元幹事（総合科学部 2000年退職）2024年3月19日ご逝去

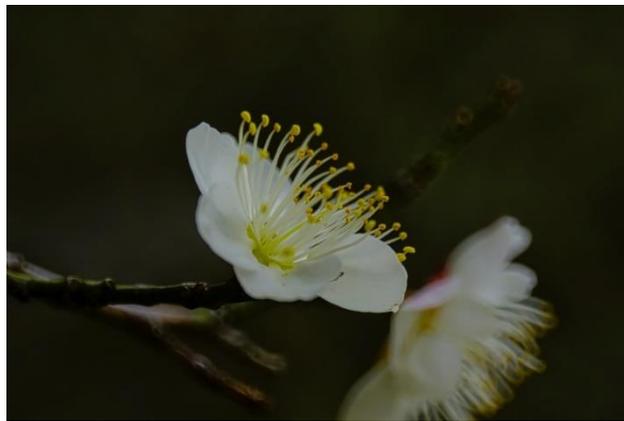
広大マスターズ広島代表幹事植木研介先生の急逝を悼む

広大マスターズ幹事 金田 晋
(広大マスターズ広島参与)

植木研介広大名誉教授が昨年 12 月 20 日逝去されました。植木教授は広大文学部表象文化学講座（英文学）教授として長く研究と教育指導に当たられ、その、19 世紀ロンドンの都市文化におけるジャーナリズム文化の活気をディケンズに焦点を当ててなされた研究は、学界で高く評価されています。

植木教授はわが広大マスターズと連なる広大マスターズ広島の創設メンバーで、長く代表幹事を務められました。広島市に生まれ、学生生活の一時期を除きずっと広島に居を据え、生粋の広島人でした。マスターズ広島の代表としてうってつけの方でした。わが広大マスターズには参与として関わられ、共同事業にも尽力されました。特に広大教養科目「平和科目」には私たちと連携して「平和科目 C」、「平和科目 D」を開設、統括担当をされました。ご自身の講義「平和と文学」では、生後 10 カ月で被爆、左眼を失ったご自身の体験、さらにご自身も参加された被爆建物の保存運動体験をベースにされるなど、学生たちに深い感銘をあたえられました。リカレント学院教養講座にはご自身も出講され、またマスターズ広島側の取りまとめ役として講師派遣等の労をとられました。

晩年コロナ禍の世界的蔓延のもとで文化運動の停滞を余儀なくされ、マスターズが目指す市民社会と文化への貢献を十分に果たせなかった憂いを遺されたでしょうが、それでも私たちは教授の果たされたご労苦と功績に感謝したい。ご冥福を祈ります。



【広島大学マスターズ事務局】

(郵便物宛先) 〒739-8601 東広島市西条栄町 8-29

東広島市市民協働センター内 メールボックス No.5 「広大マスターズ」

Eメール：masters@hiroshima-u.ac.jp

URL：(会員版) <https://masters.hiroshima-u.ac.jp>

(かわら版) <https://hirodaimasters.web.fc2.com/index.html>